

<ワーク 21> 敬語チェック！ (1/4)

適切な言葉遣いに直しましょう！

Q1. (会社を訪ねて)中村様はおりますか

➡ 中村様はいらっしゃいますか

<解説> 「おる」は「いる」の謙譲語。相手に対する言葉なので「いる」の尊敬語である「いらっしゃる」を使います。

Q2. (上司に対して)先ほど申されましたが、私もそう思います

➡ 先ほどおっしゃいましたが、私もそのように思います。

<解説> 「申す」は「言う」の謙譲語。上司に対してなので「言う」の尊敬語である「おっしゃる」を使います。

Q3. (上司に対して)コーヒーにいたしますか

➡ コーヒーになさいますか (コーヒーにされますか)

<解説> 「いたす」は「する」の謙譲語。上司に対する言葉なので「する」の尊敬語である「なさる」または「される」を使います。

Q4. (上司に対して)田中様が 10 時に参られます

➡ 田中様が 10 時にいらっしゃいます (お越しになります/ 来られます)

<解説> 「参る」は「来る」の謙譲語。上司に対する言葉なので「来る」の尊敬語である「いらっしゃる」または「お越しになる」「来られる」を使います。

Q5. (上司に対して)お食事はいただかれましたか

➡ お食事は召し上がりましたか

<解説> 「いただく」は「食べる」の謙譲語。上司に対してなので「食べる」の尊敬語である「召し上がる」を使います。「お召し上がりになる」は二重敬語になりますので、気を付けてください。

Q6. (外部の人に対して)受付で伺ってくださいませ

➡ 受付でお聞きになってください (受付でお聞きください/ 受付でお尋ねください)

<解説> 「伺う」は「聞く」の謙譲語。外部の人に対してなので「聞く」の尊敬語である「お聞きになる」を使います。

<ワーク 21> 敬語チェック！ (2/4)

適切な言葉遣いに直しましょう！

Q7. (外部の人に対して)山本部長はご帰宅されました

⇒ 部長の山本は帰宅いたしました。(山本は帰宅しました)

<解説> 部長などは敬称です。外部の人に対してであれば、職位が上の部長も身内になるので謙譲語にします。また、「ご帰宅されました」は謙譲語になっていないので尊敬語の「される」を謙譲語の「いたす」に変える必要があります。

* 「ご～される」は「される」だけで尊敬語になるのに丁寧語である「ご」がついていて、二重敬語になっているので、尊敬語で使う場合も「～される」または「ご～なさる」を使うようにしてください。

Q8. 部長、この新聞記事はお読みになれましたか

⇒ 部長、この新聞記事はお読みにになりましたか(読まれましたか)

<解説> 「お～なる」で尊敬語になりますが、「お読みになる」で十分なところに「れる・られる」という尊敬語が付け加えられていて、二重敬語になっています。

Q9. 課長は、先日こうおっしゃられました

⇒ 課長は、先日こう(このように)おっしゃいました。

<解説> この問題も二重敬語の問題です。「おっしゃる」に「れる・られる」が付け加えられています。

Q10. (社内の)どなたをお呼びしましょうか

⇒ だれをお呼びいたしましょうか(だれをお呼びしましょうか)

<解説> 「どなた」は尊敬語です。社内の人間をさしていつているので「だれ」を使います。

Q11. (外部の人に対して)山田部長さんは、ただいま外出なさっております

⇒ 部長の山田はただいま外出しております。

<解説> Q7と同じく上司は「山田」と呼び捨てか役職を前にだして「部長の山田」とします。「外出なさっております」は尊敬語と謙譲語が一つの文章に入っていて変ですね。尊敬語の「なさる」を外して「外出しております」と言きましょう。

<ワーク 21> 敬語チェック！ (3/4)

適切な言葉遣いに直しましょう！

Q12. (外部の人に向かって)高橋はお休みをいただいております

⇒ 高橋は休みをとっております。

<解説> 休みは外部からもらうものではないので、「休みをとっております」を使います。社内で休みをもらうとき、休みをとってお礼を言うときは「お休みをいただきたいのですが」「お休みをいただきありがとうございます」

Q13. (部長に)課長にその件はご説明しました

⇒ その件は、課長にご説明いたしました。

<解説> これは謙譲語の間違った使い方ではありませんが、部長からいうと下位である課長を部長よりも高めている点で、適切な使い方はいえません。場合によっては気を悪くする部長がいるかもしれません。新入社員であるあなたは、いずれも上司である場合は、二人に配慮した「ご説明（課長に配慮）いたしました（部長に丁重）」が適切ということになります。

Q14. 部長、ご苦労さまでした

⇒ 部長、お疲れ様でした。

<解説> 「お疲れさま」と「ご苦労さま」は皆さんもよく聞かれる問題ではないかと思います。「ご苦労さま」は「苦労をかけた」という意があり、目上から目下に使う言葉です。あなたが目上の方をねぎらう場合は「お疲れさま」を使いましょう。

Q15. 伊藤様でございますね(お客様の名前の復唱)

⇒ 伊藤様でいらっしゃいますね。

<解説> 「でございます」は「です」「ます」の丁寧語ですが、尊敬語にはなりません。お客様に対して使う場合は、尊敬語の「いらっしゃる」を使いましょう。

Q16. そちらは、ご利用できません

⇒ そちらはご利用になれません。

<解説> 「ご利用できません」は「利用する」の否定形です。「利用する」を尊敬語にする場合には「ご～になる」を使いますので「ご利用になる」となります。これを否定形にすると「ご利用になれません」になります。

<ワーク 21> 敬語チェック！ (4/4)

適切な言葉遣いに直しましょう！

Q17. 私的には、部長のお話は参考になりました

⇒ 私には、部長のお話は勉強になりました。

<解説> 「私的には」の「的」はぼかし言葉と言われ、ビジネスの場面では適切ではありません。

「私」と言いましょう。また、「参考」というのは「参考程度」という意味合いがありますので、目上の方に対しては「勉強」を使いましょう。

Q18. とんでもありません

⇒ とんでもないことです (とんでもないことごさいます)

<解説> 「とんでもない」で一つの言葉ですので、「とんでもありません」とは言えません。

Q19. お客様をお連れしました

⇒ お客様をご案内しました

<解説> 「お連れしました」は「しました」と丁寧には言いながらも「連れてきた」ことを連想させますので「ご案内する」を使います。

Q20. すぐにお電話の方、させていただきます

⇒ すぐにお電話をいたします。(すぐにお電話をさせていただきます)

<解説> 「方」はQ17と同じくぼかし言葉であるとともに、方向を示す言葉です。「させていただきます」は間違いではありませんが、多用すると慇懃無礼な印象を与えますので、気を付けて使いましょう。